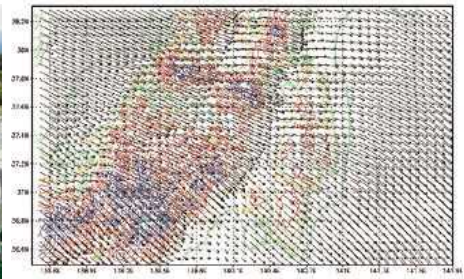


こんなことができます!

汚染質の輸送拡散解析、  
気象災害の分析、風況  
調査など



福島県付近の地上 10m の風向分布



夢

未来に今より負担のより少  
ない環境を残すこと

共生システム理工学類

渡 邊 明

WATANABE Akira

特任教授 理学博士

研究室 URL

<http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/~may>

専門分野

気象学：X-band L-band Doppler radar や Lidar を用いた大気計測や降雨システムの研究

特許情報、著書、論文

「身近な気象の辞典」東京堂出版 2011

「風の辞典」丸善出版 2011

「気候が変わる」歴史春秋社 2007 など



種々の radar や Lidar、気象ゾンデシステムなどを用いて3次元の大気環境計測を行い、降雨・降雪システムの観測をすると同時に、観測で得た data をもとに大気モデルを用いて simulation することで大気擾乱の構造解析や気象災害を発生させた要因等を調べています。近年は再生可能エネルギー関連の調査として、風力発電に関する風況調査を大気モデルや、現地調査をすることでお手伝いをしています。

想定するパートナー

企業、自治体、環境・再エネ NPO など

具体的な連携、事業化のイメージ

気象災害、汚染質輸送拡散、風況調査に関する調査・研究

これまでの取組事例

- ・地域イノベーション戦略支援プログラムで再生可能エネルギーに関する人材育成事業や風況調査を行っている。「小型風力発電システムの風況(地上 10m)」ソフトを作成
- ・福島県の地球温暖化予測で、1981 年から 2100 年までの気温、降水量変動動画を作成

- 教育 学習支援
- 健康 福祉
- 防災 都市計画
- 地域 産業振興
- 食・農
- 経営支援
- ファイナンス
- 人材育成
- 法律
- ライフサイエンス
- 情報通信
- 環境
- ナノテク 材料
- エネルギー
- ものづくり 技術
- 社会基盤
- フロンティア

